

化の進む現代で、出産、子育てなどのライフイベントは男女問わず避けられないものですし、その辺のイメージアップも必要です。

●高妻 仕事も大事ですが、同じくらいに家庭も大事です。両立するのはなかなか難しいですが、そういった点で、部下の働きやすさをサポートする「イクボス」（男性従業員の育児参加に理解ある上司）が職場に必要なのかもしれない。結婚や子育て、介護など、さまざまなライフイベントが想定される中で、男女ともに働きやす

い環境があることが“働き続けたい職場”につながり、人材を確保していく上でも大切だと思います。

●小野崎 やはり現場はどうしても長時間労働になりがちなので、ノー残業デーとか、すごく大切だと思います。男女問わず、休んだ時のバックアップ体制など、誰が休んでも現場が動くというような社内伝達機能ができるといいですね。

イメージ一新 魅力発信



高妻氏

◆業界の魅力を発信

一委員の皆さんが思う業界の魅力をアピールしてください。

●黒川 土木には同じ現場が二度とないんです。土の質なども異なるので飽きることがなく毎回新鮮な気持ちで臨んでいます。近隣の方との距離も近いので、道路が出来上がった時に「よかった。これで出入りしやすくなったよ」など

と感謝されると、この仕事を続けて良かったと思います。

●高妻 近年の自然災害によって、道路、橋など河川構造物の必要性が再確認されつつあります。生活する上でなくてはならないものを造り、守っていく建設業は、誇り高い仕事。計画から完成までの全工程に携われるのは土木公務員の醍醐味です。体力を要し大変なこともあります。業者の方と試行錯誤しながら一丸となって造り上げたものが完成したときは、大きな達成感があります。

●小野崎 建物が一つ一つ形になっていく姿を間近に見られたり、常に建築の現場は「一期一会」です。特に完成した時の達成感は何ものにも代えがたいものがあります。

●須藤 工事をしているといろいろなハプニングがあります。それを現場の代理人さんや職場の先輩と話し合いながら問題を解決していくので、答えは一つではありません。設計図は同じでも、作り手側の配慮や創意工夫によってより良い違うものが完成していく、そんな点がこの仕事の魅力の一つであり、皆さんの財産をつくる一翼を担うという誇り高い仕事です。

一ではその「魅力」を伝えていくにはどのような活動が良いと思いますか。

●栗 安全性の確保などの課題はありますが実際に重機に乗るなどの体験型のイベントは子供たちに興味を持ってもらえるのではないのでしょうか。県の事業では、舗装施工前の路面でのお絵かきイベントなども実施している事例があります。また、工事の経過がわかるような見学会など、見せ方を工夫すると建設業に対する理解も深まると思います。

●小野崎 一般の方に現場を知ってもらうためには、やはり現場見学会だと思います。特に工業高校、大学の工学部の学生をインターンシップとして受け入れる事業が効果的だと思います。

●大森 以前、青年経営者連合会と高校生で子供向けに業界のPR紙芝居を作ったと聞きましたが、対象を子供向けとした集まりで披露するのも魅力発信につながるのではないのでしょうか。

●柏倉 実際に現場を見てもらうほかに、現場内の「5S活動」や



栗氏

近隣の清掃活動、地域のイベントのお手伝い、現場研修会が思いつきますね。そのほかでは研修会は参加者だけへの情報発信なので、多くの人に知ってもらうための活動として、ITを使ったりさまざまなメディアを利用して発信していく必要があるでしょう。

一委員会では今後どのような活動ができると思いますか。

●黒川 あいさつ運動などコミュニケーション活動は身近で手軽な活動なので実践したいです。また、女性ならではの視点として清潔感のある現場事務所の整理整頓、身だしなみについて声掛けをするなどの活動もイメージアップとして発信できるのではないのでしょうか。

●大森 栃木県の建設業界のイクボスを探すのもいいと思います。とちけんのロールモデルを発掘するのはどうでしょうか。

●小野崎 学生を対象にするならばインターンシップの活用もあると思います。そうしたことを進めるためにもトイレだったり現場の整備なども平行してしっかりと行って、次の世代をがっかりさせないための整備も行っていくべきだと思います。

●須藤 「女性でも働ける職場」という視点で研修会や現場見学会を開催すれば、学生だけでなく転職を考えている方にも働きかけることが出来そうですね。専門的な世界に飛び込むには勇気があることだと思うので、初歩的なことから気兼ねなく意見交換ができる場があれば心強いサポートになると思います。

一最後に、今回の座談会を受けて一言お願いします。

●井戸 コミュニケーションの重要性、男女問わないライフイベントへのサポートなど、さまざまな角度からの意見がありました。青年経営者連合会でも、県内10支部ある中で総合学習支援と銘打って、重機の体験や測量実習などを通じPRしてきました。紙芝居の取り組みもその一つです。魅力を向上させるためのイメージアップ活動などで、この先少しでも女性の従事者が増え、この業界の未来が明るくなることへ向けて努力していきます。具体的な活動の第1弾として、委員会による「今現場どうなってる？ 綺麗な検証会」を実施したいと思います。今後もとちけん小町魅力向上委員会の活動の支援をよろしく願いいたします。

●猪股 委員の皆さん、ありがとうございました。とても有意義な座談会になりました。現場環境の改善、建設業界の魅力発信などを議論したわけですが、改善点やヒントもありましたし、女性ならではの「逆転の発想」もありました。今後も魅力ある栃木の建設業界、誰でも働きやすい建設業界を目指し活動していきます。

(敬称略)



猪股幹事長